

【シンポジウムアンケート集計表】

開催日	平成24年5月30日(水)	会場	コンバルホール
参加人数	620人	アンケート回収数	392

1. 性別

男性	女性	無回答	合計
252	131	9	392
64%	34%	2%	100%

2. 年齢

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	合計
83	64	22	22	50	72	76	3	392
21%	16%	6%	6%	13%	18%	19%	1%	100%

3. シンポジウムを知った方法 (複数回答有り)

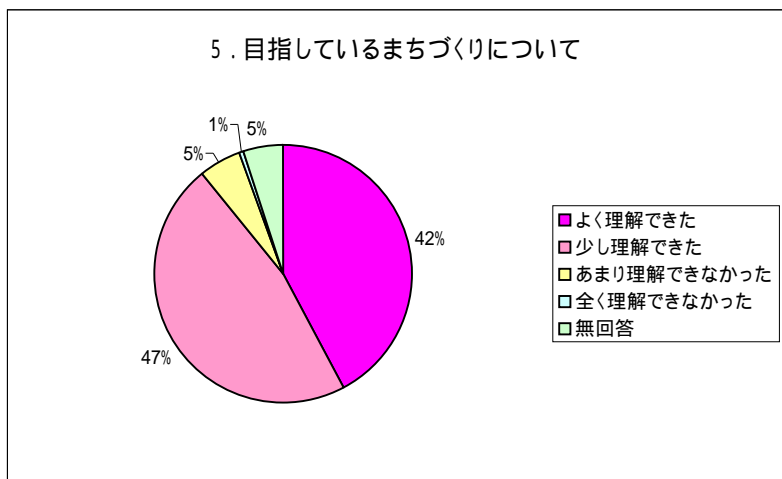
市報	チラシ・ポスター	市ホームページ	新聞・テレビ・ラジオ	知人の紹介	その他	無回答	合計
89	67	25	9	36	199	10	435
21%	15%	6%	2%	8%	46%	2%	100%

4. 条例周知の方法 (複数回答有り)

市報への掲載	市ホームページへの掲載	パンフレット等の作成	その他	無回答	合計
228	94	116	62	19	519
44%	18%	22%	12%	4%	100%

5. 目指しているまちづくりについて

よく理解できた	少し理解できた	あまり理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	合計
167	183	20	2	20	392
42%	47%	5%	1%	5%	100%



問6 本日のシンポジウムに参加して、この条例により大分市が目指しているまちづくりについて、「あまり理解できなかった」または、「全く理解できなかった」を選択した方にお聞きします。どのような点について、そう思いますか？

(主な意見)

1	基本条例はおよそ理解できた。安心・安全とのつながりが具体的に説明いただき良かった。
2	条例の総論は理解できたが、各論に対する説明不足である。
3	現在している(また行ってきた)ルールややり方に、今一度見直をするだけで良いのではないかと思う。
4	条例のできるまででなく、利用の仕方まで踏み込めればよかったと思う。
5	他の地域をサポートすると言っているが、行政の中で一人ひとりまで認知されているのか。市の職員は市民であるが、自治基本条例の精神を理解しているか。
6	この条例は、まちづくりを進める上でのルール、道具にしかすぎない。「目指すまちづくり」は理解できない。
7	事例を取り上げて話してくれた方が良い。
8	制度の必要性を感じない。
9	全体的に話が難しい。
10	ディスカッションがそれぞれバラバラな視点からの話であり、分かりにくかった。
11	住民がわかりやすい方法を考えて欲しい。

問7 これからのまちづくりにおいては、市民の皆さまの積極的な参加が必要です。あなたがこれから参加してみたいまちづくりの活動があれば、お聞かせ下さい。

(主な意見)

1	子どもを対象にしたボランティア活動(読み聞かせ、紙芝居など)
2	自治会の行事。
3	国際交流、お祭り、留学生と。
4	中心市街地のにぎわいづくり。
5	自分の住むまちの良さを再度見直し、発見し、地域の人達が気軽に参画できる活動にしたいと思う。
6	安全で安心なまちづくり。
7	社会奉仕ー公園清掃。健康づくりー高齢者の歩こうクラブ実施。朝のラジオ体操。
8	子どもと高齢者にとって住みやすいまちづくり。
9	インターネットをを使っての意見参加。
10	自治区内の生活環境をよくする。自治会、ボランティアグループの協働。自治区内の住民的集まり。
11	七夕まつり、夢色音楽祭。
12	地域づくり団体での関わりを積極的に推進していきたい。主体性を持って自立した活動をする事だと実感した。
13	自然を活かした整備されたまちづくり。
14	人のつながりをつくる活動。
15	居住している地域の文化財や歴史を生かす活動。
16	児童とのふれあい活動。昔の遊びや文化を伝えたい。
17	あいさつ運動。
18	家庭教育、学校教育、社会教育、三位一体の人づくり。総合防災体制づくり。
19	どんなことでも、時間があれば参加したいと思っています。それに参加して、もっとどんな活動したら良いのか考えたいです。
20	新しい事業を施策する際に、意見が反映できる場(交流会等)。20代と40代(~50代)等のギャップを埋める為に、イベントを設け大分市について語り合う。
21	任せっぱなしではなく、私たちが協力できる町づくり。いいと思います。
22	今から勉強してみます。よいことだと思います。
23	植林、清掃活動があれば参加してみたいです。
24	ボランティア、地域住民の間で行うあいさつから始めたいと思います。将来の大分はぼくが担います。その強い気持ちを持ち、これからの勉強、地域活動に取り組んでいきたいです。
25	孫達に良い環境を確保したい。
26	きれいな街づくり。花のある街。緑の多い街。ゴミのない街に活動したい。
27	スポーツ活動の推進による健全かつ健康なまちづくり。
28	大分のよさを実感できるようなイベントなど。
29	若い世代が興味を持って参画できる活動に参加したいと思います。このシンポジウムに参加して、とてもまちづくりに関して興味を持てたので、ぜひまちづくりの活動に参加したいと思えました。
30	こういったシンポジウムや町の行事。市民が積極的に参加していきべきと思った。
31	起業コンペ等、大分から独自の企業が生まれるような運動。
32	1%応援事業をしてみたいです。
33	各種のNPO法人を立ち上げて、一域一法人化のグループを作ったの活動はどうか。
34	高齢化社会を迎え、限界集落の活性化に取り組みたい。

問8 本日のシンポジウムやこの条例に関するご意見があれば、記入して下さい。

(主な意見)

1	大分市で自治を行うことのイメージや理想像を描くことができました。
2	「市歌」を中心にして条例を生かしていくと市民の心が一つになると思う。
3	子供と教育を考え直す必要がある。情報発信と公開を積極的にしてほしい。
4	条例を市民に一度は読ませる工夫が必要。
5	市条例を守るための対策。条例を周知させるための方法。
6	この条例が真に生きるのは推進する人材の質向上が大切。市民の教育に力を入れて下さい。
7	何も特別な条例ができたとは思わない。当然の事ではないか。
8	自治会及び自治会連合会機能の強化、充実を図っていくことが重要。自治会長になる者の資格要件を基本条件で示すことができないか。モデルを示すか、基本条例に基づく指導ができないか。
9	職員は積極的に地域活動に参加し、地域づくりを推進してもらいたい。
10	特に、自治会の活動が重要となるので、自治会長への指導、研修等をお願いしたい。
11	絵に書いたもちにしないように。
12	若い人が多かったので、新しい考えが出るのを期待したい。
13	国づくりに通じる街づくりを考えること。
14	どのようなまちづくりを目標としているのか、具体性がない。
15	自治委員にまかせるだけでなく、もっと小さな単位での説明が必要では(例えば自治会の総会など)。
16	けっこう分かりやすかったです。なるべく参加していきたいけど、もっと市が企画してもう少し強制的にした方が、幅広く参加すると思う。
17	市の責務を明記している点は評価するが、実効性は。
18	私は高校として参加する前は、このような条例が施行されようとしていることなど、全く知りませんでした。これから、一市民としての責任を持っていることを理解して、そういった分野にも興味を持っていきたいと思います。
19	会場に来られた市民の意見を聞く時間は、少しでもあった方がよいと思います。
20	様々な立場の方々のご意見が聞け、有意義でした。また、条例の内容がよく分かりました。
21	将来的な大分市のあり方が、この条例では見えてこない。大分市の未来像を示して欲しい。
22	「NPO法人」の姿がわかりにくい。
23	先進自治体では、自治基本条例施行の機会をとらえ、現自治委員制度に類似したものは廃止し、自治会等を中心にした新たな受け皿の協議会を創設していると聞く、大分市でも同様とすべきと考えるが、如何思うか。